

# 城影



発行 姫路市立城内図書館

兵庫県姫路市本町68-258

電話 079-289-4884

2022年 10月号

## ひめじ子ども読書週間（10月27日から11月9日）

図書館では「ひめじ子ども読書週間」にいろいろな行事を行っています。  
詳しくはポスター・ちらし・図書館ホームページをご覧ください。

**募集中**

### 子どものための音読講座 —美しく、豊かな「ことば」に学ぼう！—

令和4年10月29日（土曜日）開催！ 詳しくはホームページまたは城内図書館まで

### 児童文学講演会 「幼い子どものためのものがたり」

講師：上條 由美子 氏

日時：令和4年10月30日（日曜日）午後2時から午後4時まで

場所：姫路市立城内図書館 2階 大会議室

対象：子どもと子どもの本に関心のある方 中学生以上

申し込み方法

- ① 窓口：申込書を城内図書館・各分館窓口へ
- ② ファクス：申込書を 079-289-1896 へ
- ③ 図書館ホームページ内の申込フォームから

※問い合わせ先：城内図書館 電話 079-289-4884



新型コロナウイルスの感染対策のため  
変更する場合があります。詳細は図書館  
ホームページまたは各館まで。

**お知らせ**

### 白浜分館は改修工事のため長期休館しています。

期間：令和4年(2022年)10月1日(土曜日)から令和5年(2023年)8月31日(木曜日)まで（予定）

10月19日（水曜日）までは白浜分館の返却ポストが利用できます。

10月20日（木曜日）から令和5年8月末頃までは灘市民センターに置き型返却ポストを設置しますので、そちらをご利用いただけます。

## 10月・11月 図書館カレンダー（    が休館日）

10月 October 神無月						
城内図書館						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

分館						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月 November 神無月						
城内図書館						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

分館						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

# 児童文学講演会講師☆上條由美子さん

城内図書館では、10月30日(日曜日)に児童文学講演会を開催します。

講師に、翻訳家の上條由美子さんをお迎えし「幼い子どものためのものがたり」と題して、お話しいただきます。上條さんは米国の大学院で図書館学を学び、帰国後、大阪YWCA子ども図書室代表も務めると同時に、多くの絵本や物語を翻訳され、子どもたちに届けてこられました。

著書『子どもと本のかけ橋』(大和書房)からは、図書室での子どもと本の出会いの様子や、長く読み継がれている絵本のことなどが、温かくわかりやすい言葉で伝わってきます。

上條さんの訳書のうち『農場にくらして』(松野正子共訳 岩波書店)は、作家アトリーの自伝的作品で、田舎の古い農場で鳥や木、風など自然を友として育ったアトリーの瑞々しい感性に溢れています。アトリーの作品は対象年齢が幅広く、幼年文学から、『時の旅人』(松野正子訳 岩波書店)という歴史を題材にした大人でも読み応えのあるものまで様々です。『農場にくらして』は、それらに共通するものが感じられ、作品自体の豊かさとともにアトリーの作品への理解も深まります。

他にも、昔話や絵本など多く翻訳されていますが、上條さんの手がけられた作品にはどれも、子どもの心を育てる温かさや健全さが流れています。

## 〈翻訳作品〉

- 『こねこのウインクルとクリスマスツリー』(福音館書店 E-サ)
- 『はりねずみともぐらのふうせんりょこう』(福音館書店 GY-ア)
- 『クリスマスの小屋 アイルランドの妖精のおはなし』(福音館書店 GY-ク)
- 『ウィリーのぼうけん』(福音館書店 GY-ブ)
- 『オーロラの国の子どもたち』(福音館書店 E-ド)
- 『きかんしゃホブ・ノブ』(福音館書店 E-ア)
- 『ミリー・モリー・マンデーともだち』(福音館書店 GY-ブ)
- 『クリスマスのりんご クリスマスをめぐる九つのお話』(福音館書店 GY-ク)
- 『クリスマスのちいさなおくりもの』(福音館書店 E-ヤ)
- 『ぼくと原始人ステッグ』(福音館書店 GY-キ)
- 『チャールズのおはなし』(福音館書店 GY-エ)
- 『しろばらとべにばら』(福音館書店 GY-シ)
- 『おもちゃ屋のクイロー』(福音館書店 GY-サ)
- 『世界のむかし話 5』(学校図書 90-セ-5)
- 『イギリスのむかしばなし (福音館の世界むかしばなし 1)』(福音館書店 GY-ハ)
- 『ポーランドのむかしばなし (福音館の世界むかしばなし 3)』(福音館書店 GY-ハ)
- 『絵本を語る』(ブック・グローブ社 019-ブ)

## 図書案内

### 『蘭花物語』

布施 雅男/著 鳥影社 (F-フ)

仁寿山校で教えていたこともある儒学者の頼山陽の妻、梨影をモデルにした小説です。本書は山陽一家を支えながら、美しく優しく生きることを願った妻梨影の生涯を描いています。

梨影は山陽が京都に移り住んだ時に迎えた妻です。梨影は商人の娘で蘭方医の元で奉公中に、山陽の目に留まり妻となります。梨影は最初は儒学者の妻としての教養はあまりなかったのですが、向上心のある女性だったので山陽に教えられて教養を身に付け、蘭の花を描く文化人になり、山陽は梨影を「蘭女」と名付けました。山陽の死後は3人の子供たちの教育に力を注ぎ、息子の支峰は儒学者、三樹三郎は勤皇志士・詩人として活躍しました。梨影は子育てに尽力したことで京都東町奉行所より「貞節賢婦の鑑」と褒賞されました。

(谷口)

## 今月の子どもの本

### 『ロシアの昔話』

内田 莉莎子/編・訳 タチヤーナ・マブリナ/画  
福音館書店 (GY-ロ)

ある国の王さまが旅の帰りに湖でのどをうるおしていると、海の王にひげをつかまれてしまいました。海底に住む海の王はまだ見ぬイワン王子を差し出すように約束を取り付け、王さまを放しました。立派に成長したイワン王子は海底に連れていかれてしまうのでしょうか？ 美しく賢いワシリーサの機転の利いた魔法がイワン王子を救います。(「海の王とかしこいワシリーサ」)

はいいろおおかみが年とった犬をねらって食べてしまおうとします。ところが犬がこう言います。「じょうとうな馬の肉をひとかたまり食わせてわしを太らせてから好きにするとよい」と。はいいろおおかみは犬の言うことを聞いてさっそく馬の肉を半頭ぶんと牛肉もおまけにつけてやってきました。(「まぬけなおおかみ」)

魔法の話、動物の話、笑える話など、33話が収録されています。絵本でおなじみの「おおきなかぶ」「雪むすめ」なども収まっています。タチヤーナ・マブリナの伝統的なロシアのイラストとともに楽しめます。

小学生向け。読んであげるなら就学前でも。

(林)